

ボランティア伝言板

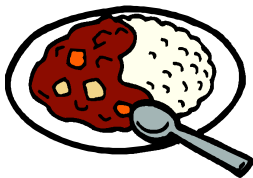


3月~4月

発行 佐伯区社会福祉協議会ボランティアセンター
〒731-5135 広島市佐伯区海老園1-4-5
広島市佐伯区役所別館 佐伯区地域福祉センター
TEL 921-3360 FAX 924-2349
平成26年3月発行

むぎの家 “ふれあいの日” 開催!!

絶品カレーライス・喫茶コーナーは無料。
皆さん、是非遊びに来てください。



- ◆自主製品販売◆食バザー：フランクフルト・ポップコーン・焼きそばの販売
- ◆ステージコーナー（コンサートなど企画）

昨年の「ふれあいの日」のようす



日 時：平成26年4月19日（土）10：00～14：00

場 所：NPO法人 むぎの家（佐伯区利松2-3-8）

内 容：作業所祭り（コンサートや食事など）

ご来場をお待ちしています



特定非営利活動法人「むぎの家」は、知的障がい・身体障がいのある利用者が通う通所施設で、下請け作業や自主製品の製作・販売、アルミ缶や古紙の回収などを行っています。

日頃、「むぎの家」はたくさんの人たちに支えられて活動しています。そんな感謝の気持ちを込めて、「ふれあいの日」は来場の方々に楽しい一日を過ごしてもらおうと、年に1度開催しています。

<主催> NPO法人「むぎの家」

<お問合せ・申込み先> NPO法人「むぎの家」(佐伯区利松2-3-8)

☎・Fax 928-1672

とび出せボラセン

インタビュー!

趣味がボランティア!

2月20日(木)、利松公民館で絵手紙を書く「まごころ絵^えっ人ほっこりクラブ」へおじゃましました。

「まごころ弁当」に絵手紙を添えてえっと(たくさん)ほっこりしてもらおうと平成19年にできたクラブです。

趣味が地域活動に生かされて良いですね!

この日は、季節ごとの素材(ふきのとう・おひなさまなど)をととても素敵に描かれていました。

きっと、届いた絵手紙を高齢者が見られ笑顔になれる姿を想像しながら…描かれているのだろうと思い、えっと(とても)微笑ましいなあと感じました。

*「まごころ弁当」は、地域の一人暮らしをしておられる高齢者の見守り活動で、おむね月に2回、同公民館でお弁当を作って手配りをしています。



「まごころ弁当」に添えて届けます



平成26年度ボランティア活動保険更新中

平成25年度に加入されたボランティア活動保険は、3月末日で補償期間が切れます。平成26年度の加入手続きを受け付けていますので早めの更新をお願いします。

ボランティア活動中のさまざまな事故によるけがや損害賠償責任を保障します。

- ① 損害事故・・・ボランティアがボランティア活動中の事故によりケガをした場合
- ② 賠償事故・・・ボランティアが、ボランティア活動中に他人をケガさせたり、他人の物を壊したことによって損害賠償責任が生じた場合

♣補償期間・・・平成26年4月1日～平成27年3月31日

♣年間保険料・・・基本タイプ A 300円 / B 450円

♣申込み・お問い合わせ・・・佐伯区社会福祉協議会

☎ 082-921-3113

FAX 082-924-2349



不登校なう～子どもの気持ちを知って考える「理解講座」開催しました！



平成26年2月22日(土) 13:30~15:30、佐伯区地域福祉センター6階大会議室で「不登校なう～子どもの気持ちを知って考える～理解講座」を開催しました。

当該の子どもを持つ保護者や民生委員・児童福祉関係者・教師・ボランティアの方々84名が参加されました。

内容は、子どもから発する信号(行動、体、言葉など)を親がしっかりキャッチして、子どものストレスサインを受け止めることが大切で、「不登校」より「登校症」の方が深刻であるとし、常日頃から「3かけと4つの安定と5感」で育てるように心がけることが大事であると話されました。

- * 「3かけ」・・・目と心と声
- * 「4つの安定」・・・生活リズム・心・居場所・家族関係
- * 「5感」・・・5感をフルに使ってときめき・情緒・充実感や遊びの体験をする。

<参加者の感想から>

- ① 参加して良かった。「絆とつながり」が子どもの心を元気にする。「心力」が育つようこれから努力したい。
- ② 心の状態が悪いほど多くのサポーターが必要だと理解した。
- ③ 「心の荷物」を少しでも減らせるよう子どもの気持ちを受け止めたい。
- ④ 「不登校」の気持ちが少し理解できたと思う。



広島国際学院大学カウンセラー
永川 邦久 氏



講座のようす

佐伯区災害ボランティアセンター 開設・運営シュミレーションを開催しました

援助要望の受付班



体験後の話し合い



1月20日(月)、佐伯区地域福祉センターにて、南海トラフ地震を想定した「佐伯区災害ボランティアセンター開設のシミュレーション」が行われました。これは、同日広島市域で実施された「広島市総合防災訓練」と連携して行われたもので、地震や津波で被害にあった方の相談受け付けや、被災者に対するボランティアの受け入れ、活動調整についての体験を目的に実施されました。当日は地区(学区)社会福祉協議会、民生委員、ボランティア、公民館、地域包括支援センターから約80名が参加され、災害ボランティアのDVD鑑賞や実際に「災害ボランティアセンター」へ相談に行くなどの体験をしました。

参加者からの声：『災害時の状況は予想つかないが、このような取り組みは継続して実施したほうがよいと思う』

まさしく「備えあれば憂いなし」の体験でした。



◇ボランティア募集◇



「テニスパートナー」

知的に障がいのある子どもたちとふれあいながら、一緒に体を動かしてみませんか！

- ♥日にち：平成26年4月5日(土)
- ♥時間：14:00~15:30
- ♥ところ：佐伯区スポーツセンター
(佐伯区楽々園 6-1-27)
- ♥持参物：上靴
- ♥主催：広島市手をつなぐ育成会
佐伯区支部学親会

「ふれあいの日」行事支援

知的障がい者作業所「むぎの家」を年に1回開放して地域の方々と触れ合うことを目的に開催します。一緒に楽しみませんか！

- ♥日にち：平成26年4月19日(土)
- ♥時間：9:00(集合)~16:30
- ♥会場：NPO法人むぎの家
佐伯区利松2-3-8
- ♥人数：4~5名くらい
- ♥主催：NPO法人むぎの家
- *昼食は用意しています



↑ お問い合わせ・申し込み 佐伯区ボランティアセンター ☎ (082) 921-3360



えりごのみ情報

リボンサロン開催日
 3月は、11(火)・25(火)
 4月は、8(火)・22(火)

今どきの嫌われボランティア ベスト4

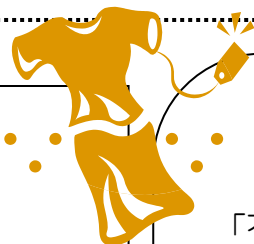
- ① 男尊女卑・・・女性がリーダーであってはならず、常に「男性の方が上」は古いです。
 - ② 経歴自慢・・・どうしても自分の経歴・学歴をひけらかしたいタイプは敬遠されます。
 - ③ 派閥をつくる・・・3人から派閥はできるそうですが、グループ活動では困ります。
 - ④ 雑用を押し付ける・・・あれこれと雑用を言いつける「上から目線」の人は面倒くさいです。
- ♣みなさん、今一度、自分の心に問いかけてみましょう！

エコ情報

そろそろ、衣替えの季節ですね。リサイクルなどは、ボランティアセンターへご相談ください。

衣類・カバン・文房具などは「赤道ギニア支援ボランティア」

*毎月第2金曜日回収に来られています。



「親の会・個別相談」

「不登校を考える会・広島」では、毎月概ね第2の土曜日に親の会を開催しています。

また、概ね第1・3の木曜日に個別相談も開催しています。お気軽にお越しください。

- ♠親の会：3月8日(土)、4月12日(土) 午前10時から
- ♠個別相談：3/6(木)、3/20(木)・4/3(木)
4/17(木) 午後1時30分から
- ♠場所：佐伯区地域福祉センター 5階
(佐伯区海老園1-4-5)
- ♠問合せ：真田まで ☎090-3376-3391